

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 善通寺市社会福祉協議会

目 次

I	事業報告概況	・・・・・・・・	1
II	各部門事業報告		
1	法人運営部門		
1-1	組織運営	・・・・・・・・	2
1-2	財務運営	・・・・・・・・	3
1-3	総合会館の管理運営	・・・・・・・・	5
2	地域福祉事業部門		
2-1	地域共生社会の実現に向けた市社協、 地区社協の活動強化	・・・・・・・・	6
2-2	地域福祉活動支援事業の推進	・・・・・・・・	7
3	ボランティア活動部門	・・・・・・・・	13
4	相談支援事業部門	・・・・・・・・	14
5	善通寺市地域支え合いセンターここ家事業部門	・・・・・・・・	20
6	在宅福祉事業部門		
6-1	ホームヘルプサービス	・・・・・・・・	22
6-2	居宅介護支援事業	・・・・・・・・	23
6-3	通所サービス事業	・・・・・・・・	23
6-4	通所型一般介護予防事業	・・・・・・・・	23
7	共同募金運動への協力	・・・・・・・・	24
	【参考資料】		
別表1	善通寺市社会福祉協議会職員数の推移	・・・・	26
別表2	令和2年度会員会費の状況	・・・・	27
別表3	令和2年度地区社協活動状況	・・・・	28
別表4	善通寺市地域支え合いセンターここ家利用状況等一覧表	・・・・	36

事業報告概況

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域住民や関係者による地域福祉活動は自粛や休止を余儀なくされた。活動実施について戸惑いや不安がある中、地区社協会長連絡協議会においてコロナ禍における小地域福祉活動について検討し、見守りや声かけなどの「つながり」を絶やさないための活動を民生委員・児童委員、ふれあい・いきいきサロンや地区社協関係者の協力により推進した。また、地域共生社会の実現に向け、住民主体の地域福祉活動の推進を目指して、地区社協による「第4次地区（地区社協）地域福祉活動計画」の策定を支援した。

一方、地域では失業や収入減となった世帯が増え、その支援として生活困窮者自立相談支援事業や生活福祉資金貸付事業特例貸付に対応した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を図りながら、災害時においても円滑な事業活動、運営を行うため、事業継続計画を策定するとともに、ICTを活用した事務事業の効率化を検討した。

1 法人運営関係

- (1) 正規職員の退職補充及びコミュニティソーシャルワークの強化のため、職員採用試験の実施により新規職員を採用し、組織体制の強化に努めた。
- (2) 社協組織の機能強化のため「県内市町社協連絡協議会ニーズ対応型社協活動第2次アクションプラン及び強化発展計画」に基づき、コミュニティソーシャルワークの強化やICTを活用した事務事業の効率化等を検討した。
- (3) 新型コロナウイルス感染症等の感染症に対応した災害時におけるBCP（事業継続計画）、職員初動参集マニュアル、災害ボランティアセンター設置マニュアルを策定した。

2 地域福祉関係

- (1) 第3次善通寺市地域福祉計画の委託事業として、地域福祉リーダー研修を行うほか、新年度に実施する善通寺市委託事業のコミュニティソーシャルワーカー業務の体制等について企画した。
- (2) 地区社協関係者等地域住民の主体による「第4次地区（地区社協）地域福祉活動計画」の策定を支援した。
- (3) 「ひきこもりに関する研修会」を実施し、ひきこもりの家族の方の居場所づくりについて関係者と検討した。
- (4) 「居宅要援護者把握事業・災害時等要援護者登録事業」の見直しについて善通寺市、民生委員児童委員協議会と協議し、「居宅要援護者把握事業」として令和2年度に65歳到達する方、66歳に到達する方の調査を民生委員・児童委員と協働し実施した。
- (5) 新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業となった生活資金が必要な方の支援として、生活福祉資金貸付事業特例貸付と生活困窮者自立相談支援事業の連携により対応した。

3 在宅福祉関係

- (1) 訪問介護事業等の利用者の減少により、介護保険事業の収支は赤字となった。
- (2) 令和2年度において、「認知症対応型通所介護事業所ふれあい上郷の家」の廃止に伴う補助金返納及び資産の引渡し等の事務処理を完了した。
- (3) 香川県の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金を活用し、感染症防止の器具等の購入により、感染拡大防止に努めた。

1 法人運営部門

1-1 組織運営

目標

経営組織の充実強化を図る。

- ① 経営組織のガバナンスの強化
- ② 事業運営の透明性の強化
- ③ 財務規律の強化

事業実績

- 1 理事会 4回
- 2 評議員会 2回
- 3 監査 1回（会計業務指導1回）
- 4 評議員選任・解任委員会 1回
- 5 定例運営会議 12回
- 6 在宅業務改善会議 12回
- 7 在宅福祉係定例会 5回
- 8 「ニーズ対応型社協アクションプラン」（香川県社協、県内市町社協連絡協議会策定）の実施に基づく活動の推進と社協組織の機能強化
 - ① コミュニティソーシャルワーク（CSW）機能の強化
相談連絡メモを活用し、情報共有を図った。
 - ② 県内広域での連携事業の検討
県内市町社協連絡協議会企画委員会において広域での連携事業の検討を行った。
 - ③ 社協の存在意義を高めるため、職員が一体的に業務を推進できるような機構改革の検討、職員採用及び職員の意識改革を目指した人材養成研修の推進（強化発展計画（3か年））
 - ア 事務事業の効率化
ICTを活用した事務事業の効率化について検討した。
 - イ 職員採用試験の実施
職員採用試験を実施し、新規職員1名を採用した。
 - ・第1次選考試験 令和3年2月23日（小論文、集団面接）
 - ・第2次選考試験 令和3年3月6日（適性検査、個別面接）
 - ウ 研修参加回数 30回
- 9 災害時のBCP（事業継続計画）、初動参集マニュアルの検証
 - ① 災害時におけるBCPの検証
新型コロナウイルス感染症等感染症に対応したBCP計画を策定した。
 - ② 災害時における初動参集マニュアルの検証
新型コロナウイルス感染症等感染症に対応した初動参集マニュアルを策定した。
- 10 所有施設の運営管理
 - ① 社会福祉センターの運営 利用者人数 8,734人（元年度14,957人）
 - ② 介護予防、健康増進事業（社協eサロン）の運営 利用者人数 3,478人（元年度4,862人）

評価と課題

1～4

- ① 定款その他の規程に従い、適正な組織運営に努めた。
- ② 社会福祉法人充実残額は発生しなかった。
- 5 各係の業務を共有化し、法人内の事務事業の課題解決、業務改善連絡調整を行い、組織運営の充実強化を図ることができた。

7 在宅福祉係定例会については、コロナ禍により実施を見合わせた月もあったが、感染症対策等の研修を実施し、感染症の予防に努めた。

8 ③

イ コミュニティソーシャルワーク（CSW）の強化及び安定継続した組織運営のため新規職員を採用した。職員数の推移（別表1 26P）

9 災害におけるBCP及び初動参集マニュアルについては、新型コロナウイルス感染症等感染症に対応する必要があることから、再度、見直しを行い、策定した。

1-2 財務運営

1 自主財源の増強

目標

地域における住民相互の助け合いのための、地域福祉財源としての自主財源を確保する。

事業実績

① 会費収入 7,085,700円（元年度 7,469,800円）

会費状況表（別表2 27P）

② 寄附金収入

（単位：円）

種別	令和2年度		令和元年度	
	金額	件数	金額	件数
社会福祉事業積立寄附	2,167,306	19	1,300,555	26
歳末協賛事業寄附	800,000	1	800,000	1
障害者福祉事業寄付	-	-	70,530	1
生きがいひろば事業寄附	236,351	-	444,562	-
合計	3,203,657	20	2,615,647	28

③ 事業収入

（単位：円）

事業名	令和2年度金額	令和元年度金額
車椅子貸出事業	136,500	161,000
広報紙広告事業	120,000	95,000
健康増進事業	182,020	293,530
上郷の家サロン事業	-	98,700
総合会館貸館事業	563,723	1,242,056
福祉サービス利用援助事業	415,500	364,500
法人後見事業	180,000	180,000
社会福祉センター貸館事業	224,722	210,805
訪問サービス事業	127,200	145,050
通所サービス事業	338,250	316,200
生きがいひろば事業	150,000	227,700
介護保険対象外サービス事業	8,250	36,000
生活福祉資金貸付事業	60,000	-
ここ寄席	0	1,000
合計	2,506,165	3,371,541

④ 基本財産、積立金及び積立資産の効果的運用（運用状況）

（単位：円）

積立金等名称	前年度末現在高	本年度取崩額	本年度積立額	本年度末現在高	利息
基本財産	1,000,000	0	0	1,000,000	100
振興財団退職給付引当資産	4,664,516	0	604,944	5,269,460	—
退職給付引当資産	11,695,594	0	0	11,695,594	10,028
社会福祉事業積立資産	46,845,651		2,167,306	49,012,957	14,179
障害者福祉事業積立資産	19,600,648	0	0	19,600,648	19,052
地域福祉事業積立資産	14,401,383	0	0	14,401,383	4,410
ボランティア事業積立資産	7,365,417	0	641	7,366,058	641
健康増進事業積立資産	1,523,824	0	0	1,523,824	—
介護保険事業安定積立資産	19,319,000	4,292,263	0	15,026,737	7,702
合計	126,416,033	4,292,263	2,772,891	124,896,661	56,112

評価と課題

- ③ コロナ禍により健康増進事業、総合会館貸館事業、生きがいひろば事業については、利用の制限を行ったため、収入は減少した。
- ④ 積立金については、認知症対応型通所介護事業所「ふれあい上郷の家」廃止に伴う、補助金返還のため、介護保険事業安定積立金を予算に基づき、取り崩したが、社会福祉事業積立金、地域福祉事業積立金については、事務事業経費の見直し、人件費の減少等により取り崩しを行わなかった。
- 資産運用計画に基づき定期預貯金で運用した。
- 積立金の運用については、理事会の承認を得て、資金運用計画に基づき実施した。

2 公費収入の強化

目標

公益性の高い地域福祉事業について、市補助金を確保するとともに委託事業収入、指定管理料収入を確保する。事業人件費についても理解促進を図る。

事業実績

補助金、指定管理料収入、受託事業収入の確保

（単位：円）

種別	令和2年度金額	令和元年度金額
市補助金（社協助成事業、地域安心生活推進事業）	27,261,000	25,261,000
指定管理料収入、受託事業収入	62,277,244	58,318,285
合計	89,538,244	83,579,285

評価と課題

コロナ禍による生活福祉資金特例貸付及び総合支援資金貸付のための委託料が増加した。

通所サービス事業（市委託事業）については、委託料の見直しに伴い、改善は見られたが赤字経営

であることから、利用者増につながるメニューの開発を進めるとともに、更なる委託料の改善に向け、市担当課と協議していくこととした。

1-3 総合会館【市指定管理者制度】の管理経営

目標

健康、福祉、介護予防の総合拠点として、市民、各種クラブ、各福祉団体等に貸室、専用室を提供し、市民の健康と福祉の向上に寄与する。

事業実績

働く婦人の家、勤労者青少年ホームの管理運営

【市指定管理者制度】

- ・利用者人数：22,037人（元年度：20,410人）
- ・利用料収入：563,723円（元年度：1,242,056円）

2 地域福祉事業部門

2-1 地域共生社会の実現に向けた市社協、地区社協の活動強化

目標

地域の様々な生活課題への対応や地域を基盤にした解決につなげる支援や仕組みづくりを推進するため、小地域における住民主体の福祉活動を一層強化するとともに、社会福祉法人、民生委員・児童委員等関係機関や団体との連携、協働の取り組みを推進し、地域のつながりの再構築を図り、地域共生社会の実現に向けた実践を進める。

事業実績

(1) 市社協の活動強化

- ア 地域福祉活動のネットワークづくりとしては、社会福祉施設、民生委員・児童委員、相談支援機関、行政との協働、連携体制づくりを意識しながら、相談支援活動を行うとともに各会議、研修会を実施した。
- イ 住民主体の小地域福祉活動の活性化については、地区社協活動の推進やふれあい・いきいきサロン活動の充実、見守り活動ネットワーク事業の拡充強化に取り組んだ。
- ウ 福祉活動の担い手づくりについては、ふれあい・いきいきサロンパワーアップ研修会、ひきこもりに関する研修会を実施するほか、地区社協活動や善通寺市地域支え合いセンターここ家での活動を推進し、福祉活動の理解及び協力を促進した。
- エ 総合的な相談支援体制の整備については、相談支援事業の強化として、生活困窮者自立相談支援事業、生活福祉資金貸付事業、福祉サービス利用援助事業及び香川おもいやりネットワーク事業の効果的連携により制度の狭間の課題や複合多問題のニーズに対応するとともに、民生委員・児童委員や地区社協と連携し、住民の身近な地域で相談がつながる体制づくりを進めた。また、地域活動の拠点整備として、地域支え合いセンターここ家における地域住民の交流、支え合い活動、居場所づくりを推進した。

(2) 第4次地区（地区社協）地域福祉活動計画の策定支援

5地区の地区社会福祉協議会における第4次地区地域福祉活動計画の策定について支援を行った。

(3) 第3次善通寺市地域福祉計画推進事業の推進

- ア 地域福祉の担い手育成の研修会
 - ・地域福祉リーダー研修会の実施
 - 日 時 令和2年12月18日(金)
 - 内 容 松江市社会福祉協議会の組織運営と活動及び松江市における地区地域福祉活動計画の策定について
 - 講師 松江市社協 地域福祉課 豊島課長、梅係長
 - 参加者 地区社協会長、地区連合自治会長、地区民生委員会会長 20名
市社会福祉課職員、市社協職員 8名
- イ コミュニティソーシャルワーカーの配置計画策定、配置に向けた体制整備
 - ・令和2年度地域福祉コーディネーターリーダー研修会（全社協主催）の受講
 - ・善通寺市地域福祉計画におけるコミュニティソーシャルワーカーの配置（案）作成

評価と課題

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な活動が制限された。また、市社協として、失業や収入減となった世帯への生活福祉資金貸付事業の対応に追われ、地域への支援体制が十分とれなかった。そうした中、第4次地区地域福祉活動計画の策定については、地区社協にご理解をいただき、アンケートや策定委員会の実施など主体的に策定を進めていただいた。未策定の

地区については、令和3年度において策定を進める予定である。

策定を終えた地区では、第4次計画を基に令和3年度から地域福祉活動を推進する。これまでの活動の継続実施と生活支援のシステムづくりや福祉委員の設置、事務局体制整備、居場所づくりなど新たな取組を進める地区もある。

2-2 地域福祉活動支援事業の推進

1 地区社協活動事業の推進

目標

日常生活圏域単位で地域の状況に応じた支え合い活動を活発化させ生活課題を抱えた人が住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう地域づくりを行う。

事業実績

(1) 地区社協の組織と活動の強化 (別表3 28P～35P)

- ア 地区社協活動を担う人材の育成
 - ・ふれあい・いきいきサロン研修会、サロン代表者会の実施支援
 - ・地区社協役員研修会の実施支援
- イ 運営費事業費の助成
 - ・助成金額 8,320,100円 (共同募金助成金含む。)
- ウ 地区社協担当職員の配置
 - ・地区社協総会(書面決議)の支援、役員会、福祉委員会に参加した。
- エ 見守り活動ネットワーク事業の推進
 - 5地区社協において、民生委員・児童委員と見守り活動推進員の連携による要援護者の見守り活動を推進した。また、地区ごとに連絡会や研修会を行い、見守り対象者や地域の課題など情報交換を行った。筆岡地区においては見守り活動ネットワーク事業の立ち上げについて協議を行い、見守り活動推進員の推薦を進めた。
- オ 地区支え合い会議の企画、実施検討
 - ・生活福祉課題を抱えるケースについて、自治会や民生委員から相談を受け、市や社協、相談支援機関が出席し、地区支え合い会議を数件実施した。
- カ 地区社協役員、福祉委員等研修会の実施

(2) 地区社協会長連絡協議会の開催

令和2年6月2日	・ふれあい・いきいきサロン及び高齢者等外出支援事業の再開について ・各地区社協の活動状況と今後の地区社協事業について ・第4次地区地域福祉活動計画の策定について他
令和2年9月4日	・各地区社協の活動状況と令和2年度後半の事業について ・第4次地区地域福祉活動計画の策定について他
令和2年10月26日	・高齢者等外出支援事業について ・地域福祉リーダー研修科について他
令和3年2月26日	・令和3年度地区社協助成金交付基準表(案)及び令和2年度の実績について ・令和3年度市社協の事業方針について

評価と課題

- ・地区社協会長会において、コロナ禍における地区社協活動の現状や課題について情報交換、協議がなされた。特に、高齢者等外出支援事業、ふれあい・いきいきサロンの実施について検討するとともに、第4次地区地域福祉活動計画の策定について協議した。
コロナ禍においても、これまで積み重ねてきた地域のつながりづくりを絶やささない工夫が必要とされている。

2 ふれあい・いきいきサロン事業の推進

目標

地域の支え合い、閉じこもり防止及び介護予防を目的とし、利用者及び運営ボランティア等の参加
参画で小地域ごとに自主的な相互支援活動としてのサロン活動を展開する。

事業実績

(1) サロン結成

101 グループ（元年度実績：105 グループ）

(2) サロン運営支援

- ・活動の企画相談支援
- ・活動費助成：総額 990,000 円助成
- ・レクリエーショングッズの貸し出し：10 件
- ・各地区のサロン代表者会、交流会への協力
 - 中央：令和 3 年 3 月 21 日（高瀬天然温泉）
 - 東部：令和 3 年 3 月 12 日（公民館）
 - 西部：令和 2 年 7 月 2 日、令和 3 年 3 月 10 日（公民館）
 - 南部：令和 3 年 3 月 10 日（公民館）
 - 与北：令和 2 年 12 月 15 日（公民館）
 - 竜川：令和 2 年 7 月 3 日、令和 3 年 2 月 19 日（公民館）
 - 筆岡：令和 2 年 6 月 16 日、11 月 17 日、令和 3 年 3 月 10 日（公民館）
 - 吉原：令和 2 年 7 月 15 日、令和 3 年 3 月 18 日（公民館）

(3) リーダー等研修開催

- ・パワーアップ研修会の開催
 - ① 「送って楽しい！もらって嬉しい！絵手紙づくり」
 - 講師 NPO 法人さぬきっずコムシアター 百々 祐子氏
 - 日時 [第 1 回] 令和 2 年 11 月 4 日、[第 2 回] 令和 2 年 11 月 11 日
[第 3 回] 令和 2 年 11 月 18 日
 - 場所 市総合会館 3 階 学習室
 - ② 「外出自粛でなまった身体をほぐそう！簡単体操」
 - 講師 健康運動指導士 吉田 美由紀氏
 - 日時 [第 1 回] 令和 2 年 11 月 4 日、[第 2 回] 令和 2 年 11 月 6 日
[第 3 回] 令和 2 年 11 月 17 日
 - 場所 市総合会館 4 階 軽運動室

参加合計人数 78 人

(4) サロン活動の啓発

- ・広報誌において「突撃訪問！隣のふれあい・いきいきサロン」のコーナーを設け、サロン活動を啓発した。

評価と課題

- ・高齢化による参加者の減少や新たな参加者が少ない、また、リーダーの後継者がいないなど活動が続けられないことが課題である。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月から 5 月はサロン活動の実施の自粛を要請した。
- ・コロナ禍で例年のように活動ができない中でもサロングループの多くは、これまでのつながりがきかれることがないように工夫し、電話での安否確認、回覧板やお菓子をお届けしたりと、感染防止に気を付けて活動を続けている。

3 地域の居場所づくり事業の推進

目標

生活のしづらさをかかえる方、ひきこもりの状態にある方やその家族が相談できる、また、安心して過ごせる居場所を検討し、実施するとともに、そうした方々が孤立しない地域づくりを進める。

事業実績

「ひきこもりに関する研修会」の開催

地域住民や関係者の方々が、ひきこもりに関する正しい理解、ひきこもりの家族の方の居場所など地域における支援を考える機会をつくることを目的とし実施した。

日時 令和2年10月28日
場所 市総合会館4階軽運動室
テーマ 「ひきこもり支援と居場所」
講師 一般社団法人 hito,toco (ヒトトコ) 宮武 将大 氏
参加者 39人

評価と課題

- ・令和2年度に開催した「ひきこもりに関する研修会」の参加者と、おもいやりネットワークの関係者に案内をし、39人の参加があった。
※延期となっていた令和2年度の第3回に代わる研修として開催。
- ・コロナ禍でも開催できる方法を検討し、グループワークは行わずアンケートとし、講演形式で開催した。
- ・ひきこもりへの理解を深められ、今後の居場所づくりの参考となるような講演内容で、参加者からも「具体的でわかりやすかった」との感想が寄せられ、好評だった。
- ・アンケートで社会資源についての意見が多く寄せられ、今後の居場所づくりについて検討していくための良い機会となった。

4 高齢者等外出支援事業

目標

高齢者等の日常生活支援や生きがいづくり又は社会参加を促進し、閉じこもり防止と介護予防を目的とした外出支援自動車の運行を地区社協との協働で行う。

事業実績

- (1) 【生活支援型】買い物の支援（吉原地区社協）
 - ・利用者数 0人（元年度 472人）
 - ・運行回数 0回（元年度 88回）
- (2) 【生きがい社会参加促進型】温泉、四季の行事巡りなど（8地区社協）
 - ・利用者数 203人（元年度 3,011人）
 - ・運行回数 37回（元年度 384回）

評価と課題

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生きがい社会参加型は12月から再開した。生活支援型については、実施地区である吉原地区において役員会等を実施し、再開の検討を行ったが、感染リスクを考慮し、実施には至らなかった。代替として、市高齢者課が実施しているちょこっと号を利用できるように調整した。

5 障がい者福祉の推進

目標

障がい者や課題を抱える人が地域で安心して暮らせるように、その活動を支援する。

事業実績

(1) 当事者組織の活動支援

- ・普通寺市が実施する精神障がい者の居場所づくり事業「ふれあいポートぜんとうじ」に職員が参加した。

(2) 福祉自動車貸出

- ・利用回数 106回（元年度169回）
- ・貸出車両 2台

(3) ふれあいふくしまップのweb上での更新と公開

- ・社協広報誌2月号で記載情報の更新、追加の依頼をし、更新を行った。

評価と課題

福祉自動車貸出事業については、事故が起こった際の保険の取り扱いなどの課題があり、今後も継続して協議していく必要がある。

6 地域安心生活推進事業の推進

目標

居宅要援護者把握事業について、地域の日常的な見守り活動や緊急時に活用できるように、民生委員・児童委員や行政とそのあり方を協議し、実施する。

事業実績

(1) 民生委員との協働による居宅要援護者把握事業の見直し

- ・市、市民生委員児童委員協議会と協議を行い、事業の見直しを行った。見守り活動に活用することを目的とし、調査項目を減らし、安心キットについては希望者に配布し、自己管理していただく方法となった。今年度は65歳到達者及び66歳到達者の訪問調査を民生委員・児童委員の協力により実施した。

（新規調査依頼件数 871件、登録数418件、安心キット配布数 146件）

- ・これまで登録した要援護者台帳については、今後も継続し見守り等に活用する。
- ・随時、民生委員や本人からの登録内容の変更を受けし、更新を行った。（月平均15件）

(2) 地域での見守り活動の推進

- ・コロナ禍において、外出や地域の交流行事が中止となり、高齢者等の孤立化が懸念される中、民生委員・児童委員や見守り活動推進員、福祉協力員、また、ふれあい・いきいきサロンによる見守り、声かけを継続して行った。
- ・広報活動として、市社協広報紙「社協だよ！」において、各地区の見守り活動関連記事を掲載し、見守り活動の啓発を行った。

評価と課題

- ・事業が見直され、見守り活動を目的とした居宅要援護者把握事業となったが、この事業で把握される一人暮らし高齢者等については、災害時や災害発生後の安否確認等の支援も含めて関係者で協議していく必要がある。

7 関係団体の運営に係る事務の受託

目標

関係団体の事務局事務を受託し、併せて活動を支援する。

事業実績

(1) 民生委員児童委員協議会運営事業【市受託事業】

- ・市民児協事務局の担当（事務、会計、企画相談支援）
- ・民協理事会、単位民児協への出席 102回
- ・主任児童委員定例会、研修会への出席 6回
- ・全員研修会、県、県民児協研修会等各種会議、視察受入等の参加開催支援 10回

(2) 老人クラブ連合会事務局事務 【市受託事業】

- ・教養活動事業 1回
- ・社会奉仕活動事業 4回
- ・健康増進事業 3回
- ・月例理事会等 15回
- ・県老人会議等 7回

評価と課題

市民生委員児童委員協議会及び市老人クラブ連合会の運営が円滑に進められるよう事務局として連絡、調整、企画の支援が行えた。

8 物品貸出事業

目標

車椅子や福祉教育物品等を貸し出すことにより、生活支援や福祉教育の推進を図る。

事業実績

(1) チャイルドシート貸出し

- ・新規貸出し 53件、継続貸出し 39件

(2) 車椅子貸出し

- ・284件

(3) 福祉教育物品等の貸出し

- ・レクリエーション遊具 10件
- ・ボランティア、福祉教育備品 5件
- ・イベント関連 4件

評価と課題

チャイルドシート貸出については、需要は多いが、安全性の担保がなく、リスクマネジメントの観点から検討が必要である。

9 広報、啓発の推進

目標

地域の方への情報発信と啓発活動を推進し、地域福祉活動の理解を図る。

事業実績

- ・「社協だよ！」を年4回発行し、全世帯へ配布した。
- ・ホームページによる情報等を提供した。

評価と課題

ホームページの完全リニューアルのため、業者選定及び打合せ等を実施した。

10 福祉教育推進事業の推進

目標

地域住民の福祉に関する理解と関心を高め、地域における主体的な福祉活動を活性化し、地域の福祉力を高めていく。

事業実績

社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催せず、被表彰者等には、記念品、表彰・感謝状を持参した。

1 1 生活支援コーディネーター業務の受託【市受託事業】

目標

日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要な多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスの調査を行う。

事業実績

(1) 地域に不足する高齢者に対するサービスの把握

- ・民生委員・児童委員や地区社協関係者から寄せられる相談の中で、高齢者の生活福祉課題を把握した。

(2) 善通寺市生活支援等サービス協議体への情報提供

- ・協議体に参加し、社会福祉協議会が把握した高齢者の生活福祉課題について報告した。

評価と課題

次年度においても、民生委員等から高齢者の生活福祉課題を把握するとともに、第4次地区（地区社協）地域福祉活動計画策定の過程で、座談会や策定委員会等において地域課題を把握していきたい。

3 ボランティア活動部門

1 ボランティア、市民活動の推進

目標

市民による自主的なボランティア活動が展開しやすい環境を整えボランティア、市民活動を活性化させ、地域の生活課題への対応ができるボランティアの育成とそのネットワークづくりを目指す。

事業実績

(1) ボランティア市民活動センター「ボラン家」の運営

- ・ フリースペース、活動紹介コーナー、情報発信コーナーの設置

開所日数：289日（月曜から土曜の9時から17時まで）

フリースペース利用者数：698人

利用団体：くすくす、ふらっとふぁみりーなど

活動紹介スペースの利用（ミニ作品展：3回）

ボランティア団体紹介コーナーの設置

- ・ コミュニティかふえの運営支援（週1回火曜日）

コミュニティかふえ実施回数：23回、来場者数：595人

(2) ボランティア情報提供、啓発

- ・ 「社協だよ！」でのボランティア・市民活動センターの周知

- ・ 「社協だよ！」でのDoボランティア情報コーナーにおける個人ボランティア及びボランティア団体などの紹介（掲載：4回）

(3) ボランティアグループの支援、連携

- ・ ボランティア保険の加入促進

活動保険（団体、個人等）：27件（533人）、行事用保険：2件（80人）

- ・ 活動の相談援助

評価と課題

活動紹介スペースを利用して、ミニ作品展や常設掲示に市民やボランティアグループ、当事者団体が参加され、作品を見るためにも多くの方が来場された。また、情報交換の場としての利用があった。既存のボランティア団体や個人の支援を継続的に行うと同時に、ボランティア活動の啓発や人材育成などが今後の課題である。

2 災害ボランティア活動支援体制の整備

目標

災害時にボランティア活動が円滑かつ効果的に行えるよう、支援体制を整備するとともにマニュアルの検証を行う。

事業実績

新型コロナウイルス感染症等感染症に対応した災害ボランティアセンター設置マニュアルを策定した。

また、全国社会福祉協議会から香川県社協を通じて依頼のあった災害ボランティアセンター等の経費について、公費とすることへの要望について市社会福祉課を通じて市防災管理室へ要望書を提出した。

災害ボランティアセンターの運営に係る経費については、市が負担することとした協定書を締結した。

評価と課題

実際の災害発生時を見据えたシミュレーション等を行っていく必要がある。

4 相談支援事業部門

1 総合相談・援助センターの設置と運営

目標

地域住民の様々な相談に気軽に応じ、専門相談機関への紹介又は連携を行い福祉サービス等の情報提供を行う。

事業実績

(1) 相談事業

区分	回数	相談件数
法律相談	12回	50件
法務登記相談	12回	32件
一般相談	24回	22件

(2) 一般相談員研究協議会

3月4日に実施。講演と事例検討を実施。

研修 相談援助の基本～社会福祉援助の基礎～

講師:四国学院大学 社会福祉学部 教授 西谷 清美氏

評価と課題

- ・一般相談では、専門的な相談もあり、本会実施の法律相談、法務登記相談や他関係機関に繋ぐことが出来た。

2 権利擁護支援事業の推進

目標

判断能力が不十分な高齢者、障がい者等が地域で安心して暮らせるように関係機関と連携を図りネットワークを構築し、福祉サービス利用援助事業、法人後見事業を推進する。

事業実績

(1) 福祉サービス利用援助事業の推進【県社協委託事業】

- ・専門員 3人、生活支援員 9人
- ・専門員研修会 4回（権利擁護事業担当者会、相談事業担当者定例会 等）
- ・生活支援員等研修 1回（生活支援員研修会、権利擁護人材育成研修会 等）

【契約、相談状況】

- ・契約締結件数（令和2年度新規）

種別	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	生活保護(再掲)	合計
契約者数(人)	2	1	1	0	2	4

- ・契約終了件数（令和2年度内）

種別	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
終了者数(人)	4	0	1	0	5

- ・実利用件数（令和3年3月末現在）

種別	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
利用者数(人)	7	7	6	2	22

・相談内容 ※重複あり（単位：件）

種 別	高齢者	知的	精神	その他	合計
福祉サービスの手続き	4	3	0	0	7
日常的な金銭管理	113	144	118	40	415
書類預かり	11	1	4	0	16
保健サービスの手続き	4	0	0	0	4
医療に関する事項	5	0	0	0	5
福祉サービスに関する苦情	0	0	0	0	0
今後の生活設計	661	493	872	150	2176
本事業に関する問い合わせ	0	0	0	0	0
成年後見制度に関する問い合わせ	0	0	0	0	0
その他	18	0	0	0	18
合 計	816	641	994	190	2641

(2) 法人後見事業の推進

受任件数：1件 相談件数：0件

(3) 関係機関とのネットワークづくり

NPO 法人後見ネットかがわとの連携、相談支援

評価と課題

- ・利用相談の増加に伴って、事業の実施の体制を整えていく必要がある。
- ・単に金銭の管理だけではなく、複合的な課題を抱えている世帯が多く、生活困窮者自立支援事業や関係する施設や事業所、行政等の関係機関と連携し、密な情報交換を行うことで、重層的な支援に努めた。
- ・権利擁護人材育成研修への周知、案内を行い、新しい生活支援員等の養成に取り組んだ。
- ・新型コロナウイルスの影響で対面での面談が難しい期間もあったが、感染症予防に努めながら本人に寄り添い、ニーズに応じた支援が行えた。

3 ぜんつうじ生活自立相談支援センターつながるねっとの運営（市委託事業）

（生活困窮者自立相談支援事業の推進）

目標

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者の自立の促進に向けた自立相談支援等を進める。行政や関係機関との連携を促進する。

事業実績

(1) 自立相談支援事業の推進（市委託事業）

- ・総括 1人（局長兼務）、主任相談支援員 1人（専任）
- ・相談支援員兼就労支援員 1人（地域福祉兼務）

【相談実績】新規相談 331件（令和元年度 153件）

① 相談者

区分	本人	家族、親族	関係者（関係機関）	知人、隣人	その他
件数（件）	245	11	70	5	0

② 相談経路

区分	直接	関係者（関係機関）	その他
件数（件）	129	※192	10

※関係機関経由内訳

区分	社会福祉課	税務課	子ども課	高齢者課	市(左記以外の担当課)	病院
件数(件)	42	10	19	3	8	7

市以外の行政機関	民生委員・児童委員	ハローワーク	障害の相談支援機関	社協(県、他市町含む)	その他
2	17	4	5	70	5

③ 対象者性別

区分	男性	女性	不明、その他
件数(件)	178	146	7

④ 対象者の年代

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60~64才	65~69才
件数(件)	4	20	37	73	59	22	15

70代	80代以上	不明
37	8	56

⑤ 相談内容(初回相談時) ※重複あり

区分	件数(件)
病気や健康、障がいのこと	25
住まいのこと	40
収入、生活費のこと	206
支払、債務のこと(家賃、光熱費、医療費、税金、ローン等)	95
仕事に関すること(仕事探し、仕事上の不安、トラブル等)	31
家族との関係について(子育て、介護含む)	24
ひきこもり、不登校	10
食べるものがない	35
その他(地域との関係、日常の心配事等)	38

⑥ 相談継続状況

区分	相談継続	経過観察	終結
件数(件)	111	49	171

⑦ 支援申込みの有無

区分	申込み有	申込み無
件数(件)	98	233

⑧ 対応状況(前年度からの継続を含む。)

- ア. 支援調整会議の実施 12回19ケース(プラン作成14件)
- イ. 任意事業の利用

- ・認定就労訓練事業 1件
- ・学習支援事業の利用 0件
- ウ. 独自事業で対応
 - ・ストックヤードの利用 9件
 - ・フードバンクの利用 76件
 - ・家計相談支援 10件
- エ. 生活保護受給者等就労自立促進事業の利用 5件（うち、就労決定4件）
- オ. 自立相談支援事業所による就労支援 1件（うち、就労決定1件）
- カ. 生活福祉資金の貸し付け利用支援 通常の貸付 5件
特例貸付 83件
- キ. 法テラスを利用しての債務整理 1件
債務整理相談 1件
- ク. 生活保護へのつなぎ（受給決定）2件
- ケ. おもいやりネットワークの現物給付 1件
- コ. 居住支援（アパート探し、転居支援）4件

評価と課題

- ・新型コロナウイルスの影響を受けた方の貸し付け（特例貸付）に関する相談が多く寄せられ、貸し付け担当者と連携して支援を行った。
- ・初回受付相談件数は昨年度の2倍以上となっており、新型コロナウイルスに関する相談が約4割を占めている。新型コロナウイルスに関する相談を除いた初回相談受付件数も増えており、昨年度の約1.3倍となっている。
- ・相談件数の増加と、特例貸付の対応に追われ、きめ細やかな支援を行うことが難しかったが、できる限り関係機関と連携し、複合的な課題を抱える方への効果的な支援に努めた。
- ・国の人材養成研修のテーマ別研修「ひきこもり状態にあるものへの支援」に参加、おもいやりネットワークの居場所事業の「ひきこもりに関する研修会」への参画により、ひきこもり支援のスキルアップや地域の方々のひきこもりに関する理解、周知に努めた。
- ・伴走型支援士認定講座を受講し、伴走型支援についての理解を深めた。
- ・県社協主催の3担当（生活福祉資金、日常生活自立相談支援事業、生活困窮者自立支援事業）合同定例会や、生活福祉資金の説明会（オンライン開催等）に参加し、ネットワークの構築や連携に努めた。
- ・地域関係者のご協力により年末にフードドライブを行い、コロナ禍において生活に何らかの影響を受けている世帯に対し、食料品の提供を行った。（主に年末年始用として提供。）
- ・生活保護のつなぎ資金が決定するまでに食べるものがない方も多く、フードバンクを活用し、支援を行った。
- ・顧問弁護士に日常的に相談できる環境にあることで、法的な支援が必要な方をスムーズに法律相談につなぐことができた。
- ・コロナの影響により、一定期間生活保護を利用して生活再建を行う方が望ましいと思える世帯でも、車の所有ができないことを理由に申請に至らない方がいる。特例貸付が終わったあともまだ困窮状態が続くと思われる世帯があり、生活保護に円滑につながるよう担当課との連携が必要。
- ・特例貸付終了後に継続しての関りが難しい方が多くいるため、どのようにアプローチしていくか検討していくことが課題となっている。

4 香川おもいやりネットワーク事業の推進

目標

地域の深刻化する福祉課題や生活課題に対応するため、香川県内の社会福祉法人や関係機関、団体が協働し、生活のしづらさを抱え支援を必要とする方をトータルで支える仕組みづくりを進める。社会資源やサービスの開発、人材の育成、福祉教育の充実、実施体制の整備に取り組む。

事業実績

(1) 総合相談支援（緊急的経済支援）

- ・ 1 件（令和元年度：2 件）

(2) 施設や保健、福祉、医療等の関係者の連絡会の実施

- ・ 地域ネットワーク会議の実施

日時 令和 3 年 2 月 22 日

内容 講演「地域共生社会の実現を目指して」

講師 琴平町社会福祉協議会 会長 越智和子氏

グループワーク（活動上の課題等について）

(3) 連携、協働による事業企画、事業の推進

- ・ ひきこもりに関する研修会、ここめし女子会を実施した。ここめし、ここ寄席については新型コロナウイルス感染症の状況を見て中止した。

評価と課題

- ・ 制度では対応できない生活のしづらさを抱える方の相談支援について、生活困窮者自立支援事業担当者や関係機関と連携し実施した。
- ・ 生活困窮者自立支援事業と連携し、香川おもいやり認定事業として、「ひきこもりに関する研修会」を実施し、ひきこもりの家族の方々が安心して過ごせる居場所の検討を行った。
- ・ コロナ禍のため、ここめし等が実施できなかったが、新年度においては実施方法を工夫して実施していきたい。
- ・ 地域ネットワーク会議では、全国社会福祉協議会地域福祉推進委員会の副委員長でもある琴平町社協の越智会長から地域共生社会の実現に向けた取組みに何が求められているのか非常にわかりやすくご講演いただき、分野を越えて地域の課題を関係者が検討して取り組んでいくことの重要性を共有できる機会となった。地域ネットワーク会議を継続していく必要性を感じた。

5 生活福祉資金貸付事業の推進【県社協受託事業】

目標

低所得者又は障がい者、高齢者世帯などに対し、資金の貸し付けと必要な援助指導を行うことによって、生活の自立を促進する。

事業実績

資金の貸付

新型コロナウイルス感染症の影響により、休業や失業等により生活資金が必要な方のための特例貸付の実施に伴う相談の体制を整備し、支援を行った。

- ・ 相談件数：5 6 7 件
- ・ 令和 2 年度申し込み件数：4 2 4 件（内 貸付決定件数：3 4 6 件）
 - 貸付種別内訳：緊急小口資金 1 7 件（内 生活保護つなぎ資金：1 4 件）
 - 教育支援資金 4 件
 - 福祉資金（福祉費）3 件
 - 特例貸付（緊急小口資金）1 9 5 件
 - 特例貸付（総合支援資金）1 2 7 件

評価と課題

- ・ 通常の緊急小口資金の申し込みの半数以上が生活保護のつなぎ資金で、福祉事務所からの相談も増加していることから行政との協働体制が重要である。
- ・ 生活困窮者自立相談支援事業や福祉サービス利用援助事業とも連携して相談者の支援を行う必要がある。

- 教育支援資金、福祉資金等、資金の種別によっては揃える書類が多くて労力がかかる上、貸付審査は原本が届いてからになり時間もかかるため、緊急の支援が必要な場合は手続きの簡素化を検討する必要がある。
- 特例貸付については、申請者が資金の借入のみを目的としている方が多く、それ以上の関わりを望んでいないため、本来の相談支援のようにはいかない。また、経済状況の回復が見込めない中、貸付によって負債だけが増える状況で、貸付による生活再建は困難のように感じる。

5 善通寺市地域支え合いセンターここ家事業部門

目標

多種多様な取組みを地域住民が主体的に選択し、参加参画できるように企画し、連絡、調整する。また、複雑多様化する地域ニーズに対応できるよう、住民主体の多様なサービスを有した新たな介護予防と地域福祉活動の拠点の機能を最大限活かした支援を市全体で検討し構築していく。

事業実績

1 生きがいひろば事業の推進

(1) 生きがいひろば事業の運営

- ・地域住民の趣味や特技を活かして、体操や手芸、工作等の講座を実施し、新たな交流を図り、いきいきと過ごせる居場所づくりを推進した。
- ・講座実施回数：90回（元年度：89回）
- ・講座利用人数：398人（元年度：895人）
- ・その他の利用者数：800人（元年度：1,768人）
- ・ボランティア数：69人（元年度：73人）

(2) ワンディキッチン[®]の運営支援

食を通じたコミュニティづくりを目指して、地域住民の主体的な参画のもと日替わりシェフの店なないろの運営を支援した。新たなつながり、支え合い活動を推進するとともに、地域住民が食を中心に気軽に寄れる居場所を提供した。

- ・開店日数：149日（元年度206日）
- ・利用者数：4,387人（元年度：7,150人）
- ・シェフ、アシスタント数：399人（元年度：621人）
- ・シェフの会：12回開催

(3) 発達障がい者等の居場所事業

アルプスかがわの地域支援サポート委員等のご協力のもと、主に発達障がいのある方やその特性がある方を対象とし、参加者が安心して過ごせる場としての居場所事業を実施した。

今年度から名称を「ゆるゆるカフェ」に変更し、対象者の幅も広げ、コミュニケーションに不安を抱える方ということで案内をした。またその中で、年に2回、発達障害に特化した相談会を行った。

- ・開催回数：9回（月1回実施）
- ・参加人数：参加者20人、スタッフ23人

※第1回（4月）と第2回（5月）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となっている。

(4) ここめし、ここめし女子会の実施

平成30年度から、生活のしづらさを抱えた方や地域とのつながりが薄い方を対象にここめしを開催していたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止とした。

コロナ禍においても、食を通じたつながり作りの場が持てるよう、これまでスタッフとしてここめしに関わってくれている地域の方々とともに、コロナ禍における開催の方法について検討した。

- ・ここめし打ち合わせ会 令和2年7月
参加者：地域のスタッフ4人、社協スタッフ5人

ここめしの女性限定バージョンとして、お茶とお菓子を用意して、少人数でここめし女子会を試行的に実施した。

- ・開催回数：1回（令和3年1月）
- ・参加人数：参加者3人、スタッフ（兼支援者）3人

(5) ここ寄席の検討、実施

地域住民を対象に地域で活動している方や当事者等から活動していることや思いを語っていただき、分かち合う機会を検討していたが、新型コロナウイルスの影響により、実施には至らなかった。

評価と課題

- ・生きがいひろば事業や日替わりシェフの店なないろについては、活動も定着し、地域住民の交流や支え合い活動が推進された。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4～6月は活動を中止した。
- ・発達障がい者等居場所事業については、これまでの取り組みの中で、発達障害の診断につながる前の方のニーズも多いことがわかり、今年度は対象者の幅を広げ、コミュニケーションに不安を抱える方を対象とし実施した。また、それに合わせて名称も「ゆるゆるカフェ」に変更し、より参加しやすいような案内づくりをした。居場所の取り組みの一環として、アルプスかがわ地域支援サポート委員に相談員として来てもらい、居場所に参加する中で気軽に発達障害に特化した相談が受けられる仕組みを設けた。参加人数は昨年度同様に少人数ではあるが、参加される方は場や人に慣れており、安心して過ごせる居場所となっているように感じる。
- ・ここめしについては、今年度は開催できていないが、ここめし女子会は試行的に開催することができ、少人数、短時間ならでの参加しやすさがあったようで、参加者から好評を得ている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、4～6月は善通寺市地域支え合いセンターここ家1階生きがいひろば事業を休止した。

2 通所サービス事業

(介護予防・日常生活支援総合事業) 【市受託事業】

後掲 (6 在宅福祉事業部門)

3 通所型一般介護予防事業 (くすの木脳トレコース事業) 【市受託事業】

後掲 (6 在宅福祉事業部門)

6 在宅福祉事業部門

6-1 ホームヘルプサービス

目標

支援を必要とする高齢者や障害者及び難病患者が在宅で生活を営むために必要な介護及び生活援助を行い、自立促進と社会的孤立の解消及び要介護、要支援状態への予防に努め、在宅生活を継続できるよう支援する。

(1) 障害福祉サービス（居宅介護、重度訪問介護、同行援護、移動支援事業）

達成基準 延べ利用者数：年間 290 人、時間数：3,100 時間、回数：3,300 回

事業実績

延べ利用者数：年間 287 人（元年度：280 人）

延べ利用時間数：2,941 時間（元年度：2,823 時間 30 分）

延べ利用回数：3,148 回（元年度：2,732 回）

サービス種別	年間延べ利用時間（時間）	年間延べ利用回数（回）
身体介護	277：30	555
家事援助	2157：00	2,271
通院介助（身体介護を伴う）	125：30	54
同行援護（身体介護を伴わない）	56：00	51
同行援護（身体介護を伴う）	325：00	217
移動支援	147：10	129
合計	3088：10	3,277

(2) 訪問介護事業

達成基準 延べ利用者数：年間 220 人、時間数：2,500 時間、回数：2,500 回

事業実績

延べ利用者数：年間 210 人（元年度：226 人）

延べ利用時間数：2,481 時間（元年度：3,201 時間 15 分）

延べ利用回数：2,266 回（元年度：3,042 回）

(3) 指定訪問サービス事業

（介護予防・日常生活支援総合事業）【市委託事業】

達成基準 延べ利用者数：年間 670 人、時間数：5,500 時間、回数：5,500 回

事業実績

延べ利用者数：年間 659 人（元年度：757 人）

延べ利用時間数：4557 時間 30 分（元年度：5,358 時間）

延べ利用回数：4,558 回（元年度：5,358 回）

区 分		令和 3 年 3 月 (人)	令和 2 年 3 月 (人)	前年対比 (人)
(2) 訪問介護事業	要介護 1	11	8	3
	要介護 2	8	6	2
	要介護 3	2	1	1
	要介護 4	1	1	0
	要介護 5	0	0	0
(3) 指定訪問サービス事業	総合事業 要支援 1	34	33	1
	総合事業 要支援 2	20	26	△6
合 計		76	75	1

(4) 訪問サービス事業
(介護予防・日常生活支援総合事業)【市委託事業】

達成基準	延べ利用者数：年間 210 人
事業実績	延べ利用者数：年間 206 人（元年度：227 人） 延べ利用時間数：636 時間（元年度：722 時間 15 分） 延べ利用回数：848 回（元年度：963 回）

6-2 居宅介護支援事業（認定調査含む）

目標	住み慣れた地域での生活が継続できるよう地域の社会資源と協働しながら要介護者の自立支援を行う介護サービスの調整だけでなく生活全般を支援し生活環境の改善が可能になるよう、社協らしいプランを作成する。
達成基準	延べ利用人数年間：1,100 人 月間：85 人
事業実績	延べ利用人数年間：1,065 人（元年度：1,134 人）

6-3 通所サービス事業（介護予防、日常生活支援総合事業）【市受託事業】

目標	脳トレなどの機能の活性化を目的とした介護予防レクリエーションを実施し生活にメリハリをつけるとともに、活動を通して、支えられるだけでなく地域でなうべき役割があることを認識していただき、地域で共に支え合う関係づくりを推進する。
達成基準	登録者数：50 人、
利用実績	登録者数：43 人（元年度：32 人） 延べ利用人数：2,256 人（元年度：2,108 人） ボランティア延べ人数：328 人（元年度：230 人）

6-4 通所型一般介護予防事業（くすの木脳トレコース事業）【市受託事業】

利用実績	登録者数：21 人 実施回数：78 回 延べ利用人数：520 人 サポーター延べ人数：328 人
-------------	--

評価と課題

- ・訪問介護事業等の利用者の減少により、介護保険事業の収支は赤字となった。経営状況を分析し、経営改善を図る必要がある。
- ・令和 2 年度において、「認知症対応型通所介護事業所ふれあい上郷の家」の廃止に伴う補助金返納及び資産の引渡し等の事務処理を完了した。
- ・香川県の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金を活用し、感染症防止の器具等の購入により、感染拡大防止に努めた。

7 共同募金運動への協力

目標

民間福祉活動を総合的かつ効果的に推進し、社会福祉への住民の理解を深める。共同募金運動に協力することによって、地域福祉の推進に貢献する。

事業実績

(1) 共同募金運動

- ・善通寺のまちをよくするプロジェクト助成説明会 4月
- ・審査委員会の開催 2回 助成事業審査等
- ・運営委員会の開催 2回 共同募金推進計画等について（第1回は書面表決）
- ・募金実績

区分		目標額（円）	実績額（円）	達成率（%）
地区	中央	920,000	933,600	101.5
	東部	1,109,200	1,086,600	98.0
	西部	542,300	599,100	110.5
	南部	663,000	598,600	90.3
	与北	383,600	440,900	114.9
	竜川	1,022,800	977,100	95.5
	筆岡	697,300	820,400	117.7
	吉原	571,400	610,800	106.9
事務局		931,400	774,468	83.2
合計		6,841,000	6,841,568	100.0

- ・助成実績 令和元年度募金（令和2年度事業）

種類	実績額（円）	助成先
地域福祉推進事業	2,215,047	地域福祉活動計画に基づく市社協の実施事業
小地域福祉活動事業	1,821,200	8地区社協
地域福祉活動支援事業	404,006	福祉団体、地域団体（15団体）
合計	4,440,253	

- ・災害見舞金給付金：令和2年度は実績なし。

(2) 歳末たすけあい運動

- ・募金運動については、婦人会及び自治会の協力で戸別募金、大口募金を実施。自衛隊営内居住者については、事務局から依頼。
- ・歳末たすけあい運動実行委員会の開催 2回
- ・募金実績

区分	金額（円）
戸別募金、特別募金	2,153,299
営内募金	61,200
合計	2,214,499

・助成実績

種類	件数	助成金額（円）
児童福祉施設利用者	574	377,500
障害児（者）関係	67	67,000
準要保護児童等在宅関係	352	552,500
地区社協、婦人会、自治会、市社協	17	1,178,499
公募事業	1	22,500
合計	1,011	2,197,999

※前ページ(2)の募金実績とこの表の助成実績に 16,500 円の差を生じているが、これは募金期間終了後の令和3年3月に同額を収入したもの。県共同募金会においては翌年度扱いとなる。

(3) 善通寺市歳末たすけあい運動協賛事業善通寺チャリティ美術展

・善通寺チャリティ美術展の実施

日時 令和2年11月28日（土）～12月2日（水）
9：00～16：00

場所 善通寺市総合会館 3階特設会場

内容 県内外の有名寺院の名僧、著名な書家、美術家から寄贈された書
絵画、工芸品等を展示即売

出展作品数 138点 作品協力者 63人

チャリティ即売売上金 1,645,000円

※市社協地域福祉事業へ繰入金支出 800,000円

評価と課題

- ・共同募金助成説明会を実施し、広く公募を行った。
- ・歳末募金では、公募による助成を1件実施した。
- ・共同募金及び歳末募金の実績額については、毎年度減少しており、新たな仕組みづくり（募金百貨店、ガチャガチャ募金、自動販売機募金等）を検討していく必要がある。

善通寺市社会福祉協議会職員数の推移及び職員構成

職員数の推移

(人)

年度 4月1日現在	常務理事	事務局 長	施設 長、 課長	法人運営係			事業係			老人ホーム (市指定管理)		合 計
				法人運営	無料職業紹介事業	総合会館(市指定管理)	地域福祉担当	在宅福祉担当 (介護保険)	老人ホーム	サロン 五岳		
平成20	1	1	1	2(兼3)	(兼1)	1(兼1)	3	41(兼2)	14(兼1)	2(兼2)	66	
21	1	1	1	2(兼3)	(兼1)	1(兼3)	4	36	15(兼2)	1(兼2)	62	
22	1	1	1	2(兼3)	(兼1)	1(兼3)	4 (老人クラブ受託)	40	15(兼2)	1(兼2)	66	
23	1	1	1	2(兼3)	(兼1)	1(兼3)	4	36		廃止	46	
組織変更	1	1	次長	法人運営係			地域福祉係		在宅福祉係		48	
24			1	2(兼3)	(兼1)	1(兼3)	4	38				
25	1	1	1	2(兼3)	(兼1)	1(兼3)	4	41(兼10)		51		
26	1	1	1	3(兼3)	(兼1)	1(兼3)	4	38(兼10)		49		
27	1	1	1	3(兼3)	(兼1)	1(兼3)	5 (生活困窮受託)	39(兼12)		51		
28	1	1	1	3(兼3)	(兼1)	1(兼3)	地域福祉 3	相談支援 2	生きがいひろば 6(兼務5)	33(兼10)	51	
29	1	1	1	3(兼3)	(兼1)	1(兼3)	3	2	2(兼1)	33(兼10)	47	
30	1	1	1	老人クラブ 4(兼3)	(兼1)	1(兼3)	2	2	1(兼1)	33(兼10)	46	
令和元	1	1	1	4(兼3)	(廃止)	1(兼3)	3	2	1(兼1)	31(兼5)	45	
令和2		1	廃止	3(兼1)	老人クラブ 1	1(兼3)	2	2	(兼2)	25(兼2)	35	
令和3	1	1		2(兼2)	老人クラブ 1	1(兼3)	3(兼2)	2	(兼2)	22(兼2)	33	

()内は兼務

職員構成

(人)

区 分	(嘱託)経営職	総合職	一般職	専門職	嘱託 (再雇用含む)	パート職	契約職	
常務理事	1(+1)							1(+1)
事務局長		1						1
法人運営係		1	1(-1)		1	1		4(-1)
地域福祉係		4(+1)		1				5(+1)
在宅福祉係		1	1	6	1		13(-3)	22(-3)
令和3.4.1 合計 構成比	1(+1) 3.0%	7(+1) 21.2%	2(-1) 6.1%	7 21.2%	2 6.1%	1 3.0%	13(-3) 39.4%	33(-2) 100%
令和2.4.1 合計	(1)	6	3	7	2	1	16	35

※()は前年度対比

経営職	(+1)	・嘱託事務局長兼務→嘱託経営職常務理事(+1)
総合職	+1名	・新規総合職1名採用(+1)
一般職	-1名	・育児休業(-1)
契約職	-3名	・訪問介護契約職員退職3名(-3)
総合計	-2名	

令和2年度会員会費の状況

(令和3年3月31日現在)

区分 地区	一般会費	賛助会費	特別会費	合計	世帯数(自治会 加入世帯数)
	上段:会員数(人) 下段:会費額(円)	上段:会員数(人) 下段:会費額(円)	上段:会員数(人) 下段:会費額(円)	上段:会員数(人) 下段:会費額(円)	
中央	1,018	44	66	1,128	1,248
	509,000	48,000	565,000	1,122,000	
東部	1,270	77	41	1,388	1,489
	635,000	79,000	375,000	1,089,000	
西部	712	98	33	843	728
	356,000	98,000	320,000	774,000	
南部	769	20	22	811	890
	384,500	24,000	205,000	613,500	
与北	500	40	10	550	515
	250,000	45,000	90,000	385,000	
竜川	1,373	57	39	1,469	1,373
	686,500	57,000	370,000	1,113,500	
筆岡	892	116	44	1,052	936
	445,700	127,000	425,000	997,700	
吉原	668	93	53	814	768
	334,000	97,000	515,000	946,000	
小計	7,202	545	308	8,055	7,947
	3,600,700	575,000	2,865,000	7,040,700	
その他			5	5	
			45,000	45,000	
合計	7,202	545	313	8,060	
	3,600,700	575,000	2,910,000	7,085,700	

前年度	7,536	586	333	8,455	
	3,767,800	617,000	3,085,000	7,469,800	
対比	95.6%	93.0%	94.0%	95.3%	
	95.6%	93.2%	94.3%	94.9%	

令和2年度 地区社協事業報告〈中央地区〉

(令和2.4.1～令和3.3.31)

目標	心身ともに飛躍する空海のまち	設立年月日	平成2年1月16日
----	----------------	-------	-----------

◆ 会議開催状況

会議・研修名	実施日・主な内容等	参加者
総会	6月 総会資料を役員、運営委員、福祉委員に配布・説明 (書面表決により実施)	6名
監査	6/16	4名
役員会	6月 総会資料作り	6名
サロン代表者会	3/21 コロナ予防の注意	18名

◆ 事業実績

事業名	事業内容	
在宅要援護者安否確認事業	対象者 訪問担当者 訪問回数 延べ対象者数	80歳以上の独居、寝たきり世帯、高齢者世帯、障がい者等 民生委員 12人 5,297回 (R2.1.1～R2.12.31) 3,561人 (R2.1.1～R2.12.31)
ふれあい安否確認型 給食サービス	対象者 配食の担当 実施回数 延べ対象者数	75歳以上の独居高齢者 民生委員 10回 (R2.1.1～R2.12.31) 1291人 (R2.1.1～R2.12.31)
ふれあい・いきいきサロン	13グループ	
高齢者等外出支援事業	運行回数 11回、延べ利用者数 66人	

◆ 交流事業、地区社協協賛事業等

事業名	実施日・場所	主な内容	参加者
赤門八日市	毎月 8日 赤門筋	薬師堂参拝者にお接待	一般参拝者 社協役員 10人
家での遊び方教室	1/8 中央小学校	小学1年生を主に家の中での 遊びをいろいろ、こままわし、 じゃんけん、おりずりなど	30名
料理講習	1/8 中央小学校	中央小学校5年団 ちらしあめの作り方 全員にバンダナをプレゼント	30名
中央自治会みかん狩り	11/30 西部みかん畑	現地までのウォーキング 食生活改善委員会が参加者のお 弁当 140個づくり	地区住民 130人
中央地区防災訓練	11/30 小学校	防災訓練	地区住民 130人

令和2年度 地区社協事業報告〈東部地区〉

(令和2.4.1～令和3.3.31)

目標	支え合い、助け合うまち、東部地区	設立年月日	平成2年2月26日
-----------	------------------	--------------	-----------

◆ 会議開催状況

会議・研修名	実施日・主な内容等	参加者
総会	5/20 事業報告、事業計画等 (書面表決により実施)	88名
監査	5/13	4名
役員会	5/13 総会について 7/16 特別会員の推進及び集金について他、研修	27名
役員研修会	12/8 総合会館「松江市社協の組織、地域福祉活動計画」	32名
サロン代表者会	3/12 助成金の支給、サロン活動確認事項等	14名
見守り活動推進員連絡会	12/11 資料配布、計画概要、アンケート郵送	44名

◆ 事業実績

事業名	事業内容	
見守り活動ネットワーク事業	担当者	民生委員・児童委員12人、見守り活動推進員56人
ふれあい安否確認型 給食サービス	対象者 配食の担当 実施回数 延べ対象者数	75歳以上の独居高齢者、80歳以上の高齢者のうち希望者 民生委員 10回(R2.1.1～R2.12.31) 1,291人(R2.1.1～R2.12.31)
ふれあい・いきいきサロン	17グループ	
高齢者等外出支援事業	運行回数3回、延べ利用者数	18人

◆ 交流事業、地区社協協賛事業等

事業名	実施日・場所	主な内容	参加者
ふれあい会食会	中止	—	—
ふれあい会	12/8 東部幼稚園ホール	サンタさん訪問、プレゼントを贈る(代替行事)	全幼稚園児
友愛訪問①	8/28	梨のお届け	75歳以上1人暮らし、寝たきりの方 205名
友愛訪問②	2/26、2/27	赤飯のお届け	〃 195名
敬老行事	9/19	行事検討、記念品お届け	995名
公民館まつりへの協力	中止	—	—
ウォーキング行事への協力	5回実施 市内各所	ウォーキング	自由参加
東部っ子パトロール隊への協力	指定日の付き添い見守り	書面決議、助成金及び有志による付き添い見守り	民生委員、サロン代表者等
高齢者問題を考える会(役員会)	活動休止中	—	—

◆ 広報誌の発行

広報の名称	東部地区だより	編集委員	地区社協3役、公民館運営委員等11名
1回あたりの印刷部数	2,000部	編集委員会開催日	9月初旬、3月初旬(持ち回り)
1回あたりの諸経費	40,000円(印刷代) (他に写真、テスト印刷等)	発行回数	年2回
配布方法	自治会全戸配布、公民館、小学校・幼稚園	発行日	第7号 令和2年10月1日発行 第8号 令和3年3月31日

令和2年度 地区社協事業報告〈西部地区〉

(令和2.4.1～令和3.3.31)

目標	交流を深め、支え合えるまち西部	設立年月日	平成2年2月21日
-----------	-----------------	--------------	-----------

◆ 会議開催状況

会議・研修名	実施日・主な内容等	参加者数
総会	5/26 事業報告、事業計画等 (書面表決により実施)	75名
監査	4/11	4名
役員会	11/26 地域福祉活動計画の策定について	26名
執行役員会	10/14 今年度事業の進め方について	7名
	11/26 地域福祉活動計画の策定について	7名
	3/23 第4次地域福祉活動計画について他	7名
見守り活動推進員全体会議	12/10 研修「認知症について」、意見(情報)交換	30名
役員研修会	2/25 高松市香南地区社協の活動について	15名
サロン代表者会(事務連絡会)	6/2 サロン活動の自粛と今後の運営について	7名
	3/10 今後のサロン運営と助成制度について	6名
給食サービス反省会(事務連絡会)	3/23 今年度事業の状況と課題、R3年度事業について	7名

◆ 事業実績

事業名	事業内容	
見守り活動ネットワーク事業	担当者	民生委員・児童委員7人、見守り活動推進員23人
ふれあい安否確認型給食サービス	対象者 調理の担当 配食の担当 実施回数 延べ対象者数	75歳以上の高齢者、要援護者 自治会、健康推進員、小学校PTA、民生委員 民生委員 8回(R2.1.1～R2.12.31) 313人(R2.1.1～R2.12.31)
ふれあい・いきいきサロン	7グループ	
高齢者等外出支援事業	運行回数	2回、延べ利用者数 10人

◆ 交流事業、地区社協協賛事業等

事業名	主な内容	実施日
西部地区市民ハイキング	ハイキング、ゲームなどで交流	新型コロナウイルス感染症のため中止
高齢者(独居)へ園児の花配り	幼稚園児が民生委員と菓子と花を持って訪問	
西部地区長寿会温泉いきいき旅行	長寿会の懇親、生きがいつくり事業	
五岳荘訪問	ひまわり会による歌と踊りの披露、プレゼント持参	
善通寺まつり	祭りの準備、踊り子の激励	
独居高齢者への盛夏日応援事業	高齢者宅へ民生委員が訪問	
第62回市民体育祭西部地区大会	体育大会の支援と参加	
西部地区長寿を祝う会	西部地区の敬老行事 歌、踊り、漫談	
西部地区公民館まつり	公民館まつりとして展示、バザー、芸能発表会	
園児と高齢者の交流会	幼稚園児と高齢者との昔遊び 園児の歌と踊り 交流	
三世代交流タイムス大会	各自治体対抗のタイム宣言のリレー大会支援	
自主防災訓練	防災訓練・土のう、担架づくり・機器の操作	

令和2年度 地区社協事業報告〈南部地区〉

(令和2.4.1～令和3.3.31)

目標	誰もがいきいきと暮らせ多彩でうるおいに満ち 共に創り共に助け合う	設立年月日	平成2年3月12日
-----------	-------------------------------------	--------------	-----------

◆ 会議開催状況

会議・研修名	実施日・主な内容等	参加者
総会	(書面表決により実施)	—
監査	4/26	5名
役員会	中止	—
役員研修会	中止	—
外出支援事業打合せ	2/19 外出支援事業日程打合せ	8名
ふれあいサロン打合せ	3/10 今後のふれあいサロンの運営について	9名

◆ 事業実績

事業名	事業内容	
在宅要援護者安否確認事業	対象者 訪問担当者 訪問回数 延べ対象者数	75歳以上の独居、寝たきり世帯、高齢者世帯等 民生委員 10人 1,244回 (R2.1.1～R2.12.31) 855人 (R2.1.1～R2.12.31)
ふれあい・いきいきサロン	8グループ	
高齢者等外出支援事業	運行回数 5回、延べ利用者数 21人	

◆ 交流事業、地区社協協賛事業等

事業名	実施日・場所	主な内容	参加者
介護事情所へ クリスマス慰問	12/17 大杉病院	介護支援が必要な人へクリスマス慰問を行い、お菓子を持参した。	会長 1名 副会長 1名 運営委員 1名
幼稚園児へひなあられ 持参訪問	2/24 南部公民館	ひな祭りに南部幼稚園にひなあられを持参し訪問した	会長 1名 副会長 1名 運営委員 1名
三世代ウォーキング	3/6 南部公民館	南部地区の三世代を対象としてウォーキングを行いスタンプラリーで楽しんだ	95名

令和2年度 地区社協事業報告〈与北地区〉

(令和2.4.1～令和3.3.31)

目標	『向こう三軒両隣』からつながる地域づくり	設立年月日	平成2年2月20日
-----------	----------------------	--------------	-----------

◆ 会議開催状況

会議・研修名	実施日・主な内容等	参加者
総会	5/17 事業報告・会計報告（書面表決により実施）	60名
監査	5/8 会計監査	4名
役員会	5/8 役員選出と総会議案について	11名
福祉協力員と民生委員合同打合せ会	4/8 令和2年度における福祉活動についての役割と分担の確認	28名
サロン代表者会義	12/15 サロン活動の現状・意見交換、活動助成金	12名

◆ 事業実績

事業名	事業内容	
見守り活動ネットワーク事業	担当者	民生委員 6人、活動推進員 15人
ふれあい安否確認型給食サービス	対象者	独居高齢者等
	配食の担当	福祉協力員、民生委員
	調理の担当	福祉協力員、ボランティア部員
	実施回数	10回（R2.1.1～R2.12.31）
	延べ対象者数	452人（R2.1.1～R2.12.31）
ふれあい・いきいきサロン	9グループ	
高齢者等外出支援事業	運行回数 4回、延べ利用者数 21人	

◆ 交流事業、地区社協協賛事業等

事業名	実施日・場所	主な内容	参加者
さつま芋栽培体験事業	4/14 与北小学校	スケジュール等打合せ	役員・小学校校長・幼稚園長
さつま芋栽培体験事業	5/9 借上農地	さつま芋苗植付作業	役員、民生委員、ボランティア、小学校児童、幼稚園児 25人
さつま芋栽培体験事業	9/12 借上農地	さつま芋収穫体験	役員、民生委員、ボランティア、小学校児童、幼稚園児 30人

令和2年度 地区社協事業報告〈竜川地区〉

(令和2.4.1～令和3.3.31)

目標	お互いのつながりを再構築し 誰もが安心して暮らせる 心豊かなまちづくり	設立年月日	平成元年12月15日
-----------	---	--------------	------------

◆ 会議開催状況

会議・研修名	実施日・主な内容等	参加者
総会	5/22 事業報告、事業計画等（書面表決により実施）	106名
監査	4/23	4名
役員会（理事会）	5/9 総会について	22名
策定委員会	11/6	18名
	12/4 福祉計画について	15名
	1/29	15名
福祉委員会	7/14 研修会・活動報告・情報交換	23名
	3/26 研修会・活動報告・情報交換	24名
サロン代表者会	7/3 研修会・コロナ対策について	19名
	11/10 研修会・外出支援配分について	15名
	2/19 2年度助成金・活動費支給・研修	15名

◆ 事業実績

事業名	事業内容	
見守り活動ネットワーク事業	担当者	民生委員 12人、見守り活動推進員 56人
ふれあい安否確認型 給食サービス	対象者	75歳以上の独居高齢者
	配食の担当	民生委員 8名
	実施回数	19回（R2.1.1～R2.12.31）
	延べ対象者数	737人（R2.1.1～R2.12.31）
ふれあい・いきいきサロン	13グループ	
高齢者等外出支援事業	運行回数	4回、延べ利用者数 20人

◆ 交流事業、地区社協協賛事業等

事業名	主な内容	実施日
高齢者問題を考える会	高齢者問題について	新型コロナウイルス感染症のため中止
敬老ふれあい会食会	ふれあい会食会	
わくわくふれあい 夏祭り	地域・施設ふれあい行事	
長寿を祝う会 公民館祭り	長寿を祝う会、公民館活動発表	

令和2年度 地区社協事業報告〈筆岡地区〉

(令和2.4.1～令和3.3.31)

目標	みんなで支え合う コミュニティのまち 筆岡	設立年月日	平成2年2月26日
-----------	-----------------------	--------------	-----------

◆ 会議開催状況

会議・研修名	実施日・主な内容等	参加者
総会	資料郵送にて理事による承認、役員等に周知 (書面表決により実施)	
監査	4/10	4名
役員会	5/11 令和2年度総会議案書、総会開催について審議	10名
	10/6 見守り活動ネットワーク事業説明会	38名
	10/22 見守り活動・第4次筆岡地区社会福祉活動策定	10名
	11/10 第4次筆岡地区社会福祉活動策定について説明	11名
	11/27 見守り活動ネットワーク事業打合せ	33名
サロン代表者会	2/25 見守り活動・第4次筆岡地区社会福祉活動策定	7名
	6/16 8月9月の外出支援予定表の作成	13名
	11/17 12月～3月外出支援予定	16名
	3/10 今年度の反省と次年度計画について	14名

◆ 事業実績

事業名	事業内容	
在宅要援護者安否確認事業	対象者	75歳以上の独居高齢者等
	訪問担当者	民生委員
	訪問回数	1,783回 (R2.1.1～R2.12.31)
	延べ対象者数	1,088人 (R2.1.1～R2.12.31)
ふれあい安否確認型 給食サービス	対象者	75歳以上の独居高齢者
	配食の担当	民生委員
	実施回数	11回 (R2.1.1～R2.12.31)
	延べ対象者数	373人 (R2.1.1～R2.12.31)
ふれあい・いきいきサロン	13グループ	
高齢者等外出支援事業	運行回数 4回、延べ利用者数 26人	

◆ 交流事業、地区社協協賛事業等

事業名	実施日・場所	主な内容	参加者
高齢者慰問	12/15	安否確認のため高齢者慰問 (慰問品 梅干し)	民生委員 6名

◆ 広報誌の発行

広報の名称	福祉筆岡	編集委員	自治会長、民生委員会長等7名
1回あたり印刷部数	1,400部	編集委員会 開催日	12/24
1回あたりの諸経費	154,000円	発行回数	年1回
配布方法	自治会に配布依頼	発行日	第38号 令和3年1月1日発行

令和2年度 地区社協事業報告〈吉原地区〉

(令和2.4.1～令和3.3.31)

目標	みんなで支え合い笑顔あふれる 吉原地区	設立年月日	平成元年6月28日
-----------	---------------------	--------------	-----------

◆ 会議開催状況

会議・研修名	実施日・主な内容等	参加者
総会	5/30 コロナのため開催不可（書面表決により実施）	100名
監査	4/14	4名
役員会	4/24 開催不可	6名
理事会	7/10 サロン助成金・買い物バス・福祉計画	14名
	8/7 表彰規定(案) 感謝状・表彰状・記念品	14名
	8/23 表彰・感謝状授与	15名
	10/23 歳末ふれあい訪問について	15名
	2/26 今年度収支・合同研修会・買い物バス他	15名
総会資料作成、打合	5/15 資料印刷・製本	10名
	5/21 5/23 総会準備	16名
サロン代表者会	7/15 活動報告 サロンバスについて 助成金支給	22名
	12/12 令和2年度活動報告（サロン代表宅へ配布）	2名
	3/18 助成金支給 サロンバス運行表・注意書配布他	23名
合同研修会	3/25 記念品配布	13名
吉原地区見守り活動会議	7/2 反省会	20名
	1/15 研修会	19名
外出支援事業打合せ	2/11 サロンバス運行表作成	

◆ 事業実績

事業名	事業内容	
見守り活動ネットワーク事業	担当者	民生委員 7人、見守り活動推進員 10人
ふれあい安否確認型 給食サービス	対象者	75歳以上の独居高齢者
	配食の担当	民生委員
	実施回数	17回（R2.1.1～R2.12.31）
	延べ対象者数	549人（R2.1.1～R2.12.31）
ふれあい・いきいきサロン	21グループ	
高齢者等外出支援事業	・買い物支援バス：運行回数4回、延べ利用者数21人	

◆ 交流事業、地区社協協賛事業等

事業名	実施日・場所	主な内容	参加者
普通寺まつり	中止	—	—
公民館まつり	中止	—	—
歳末ふれあい訪問 準備会	11/8 吉原公民館	訪問日の通知 袋シール貼り付け 配布者依頼	4名
歳末ふれあい訪問	12/15 公民館	記念品・あいさつ文・小学生手紙 安否確認・広報写真	役員、理事、配布者、23名

◆ 広報誌の発行

広報の名称	吉原地区だより	編集委員	会長、副会長等6名
1回あたり印刷部数	1,100部	編集委員会開催日	7/26.29 8/7.20.26 12/24.28 1/26 2/1
1回あたりの諸経費	100,000円（年間）	発行回数	年2回
配布方法	運営委員（自治会長）が配布	発行日	第14号 令和2年8月26日発行 第15号 令和3年2月1日発行

善通寺市地域支え合いセンターここ家利用状況等一覧表

令和2年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	一日平均	
開館日数(日)		21	18	22	21	20	20	22	19	20	18	18	23	242	20.2	-	
生きがいひろば	実施回数(回)	/	/	/	9	9	11	14	7	8	11	9	12	90	10.0	-	
	利用者数(人)	/	/	/	42	31	21	38	58	44	53	51	60	398	44.2	4.4	
	その他の利用者数(人)	/	/	/	64	59	74	70	84	119	99	91	140	800	88.9	8.9	
	ボランティア人数(人)	/	/	/	7	6	6	9	8	8	8	7	10	69	7.7	0.8	
	開店日数(日)	/	/	5	19	14	17	18	15	16	13	14	18	149	16.6	-	
	利用者数(人)	/	/	147	513	395	484	511	456	530	378	412	561	4,387	487.4	29.4	
	シェフ及びアシスタント人数(人)	/	/	12	53	39	46	49	41	44	36	32	47	399	44.3	2.7	
	実施日数(日)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0.0	
	利用者数(人)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0.0	
	協力者数(人)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0.0	
	実施日数(日)	/	/	1	1	1	1	1	/	1	1	1	1	9	1.0	-	
	利用者数(人)	/	/	1	1	1	2	3	/	4	4	3	1	20	2.2	2.2	
	スタッフ人数(人)	/	/	2	2	2	3	2	/	2	4	3	2	22	1.8	2.4	
	会議回数(回)	/	/	1	2	1	1	2	2	2	2	2	4	19	1.9		
利用者数(人)	/	/	9	18	7	4	14	13	15	15	16	23	134	13.4			
利用者数(人)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3	/	/	3	0.3	3.0	
スタッフ人数(人)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3	/	/	3	0.3	3.0	
利用者数(人)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0.0		
スタッフ人数(人)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0.0		
計(1)	人数(人)	75	46	294	700	540	640	696	660	766	603	615	844	6,479	539.9	26.8	
介護予防・日常生活支援総合事業	実施回数(回)	0	0	4	9	6	9	9	8	8	8	8	9	78	7.8	-	
	利用者数(人)	0	0	14	47	28	39	72	63	61	59	62	75	520	52.0	6.7	
	サポーター人数<運転手>(人)	0	0	24	51	32	44	47	39	40	44	39	48	408	40.8	5.2	
	通所サービス実施日数(日)	21	18	22	21	20	20	22	19	19	19	18	23	242	20.2	-	
	利用者数(人)	179	160	198	172	159	160	213	185	183	200	198	249	2,256	188.0	9.3	
	ボランティア人数(人)	19	18	21	19	22	17	23	18	18	16	17	20	228	19.0	0.9	
	計(2)	人数(人)	198	178	257	289	241	260	355	305	302	319	316	392	3,412	284.3	14.1
	合計(計(1)+(2))	人数(人)	273	224	551	989	781	900	1,051	965	1,068	922	931	1,236	9,891	824.3	40.9